

臨時レポート

(審査確認番号2019-TB61)

# FOMC 金融政策を現状維持し様子見姿勢

## 利下げ期待も漂う中、金融政策を現状維持

- ▶ FOMC (米連邦公開市場委員会)の金融政策に変更なし。市場には利下げ期待もあったものの、パウエル議長は「現時点で利下げ、利上げどちらにも金融政策を動かす強い必要性はない」と発言。
- ▶ 金利先物市場では“今年1回の利下げ”を“利下げなし”と同程度まで予測する動きも。

### <金融政策変更の必要性を否定>

- FOMC(米連邦公開市場委員会)は4月30日～5月1日の定例会合で、市場の大方の予想通り政策金利を現状維持の2.25～2.50%としました。声明文では経済活動の現状については「堅調なペースで拡大」とやや上方修正した一方で、物価の現状については「2%を下回っている」とし前回(3月)の表現を下方修正しました。また、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長からは「現時点では、利上げ、利下げどちらにも金融政策を動かす強い必要性はない」との発言がありました。
- 5月1日に発表された4月の米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数は、52.8となり前月比で-2.5ポイントとなり、市場予想(55.0)を下回りました。新規受注や雇用などの低下が主な要因となりました。

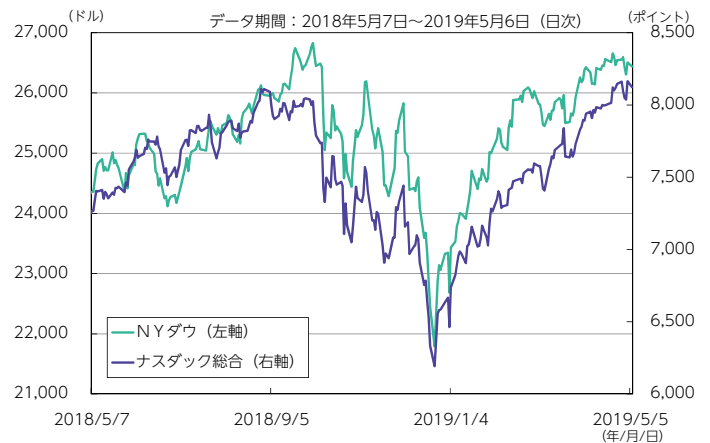
### <賃金上昇率は3%台を維持>

- 4月29日に発表されたFRBがインフレ指標としている食品とエネルギー価格を除いた3月のコア個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同月比で+1.6%とFRBが安定水準と見なす2%を下回りました。また、FOMC後の5月3日に公表された雇用統計では4月賃金上昇率が前年同月比で+3.2%と前月(3月)から横ばいとなりました。また、同月の失業率は3.6%と約49年ぶりの低水準となりました。雇用環境は引き続き堅調です。

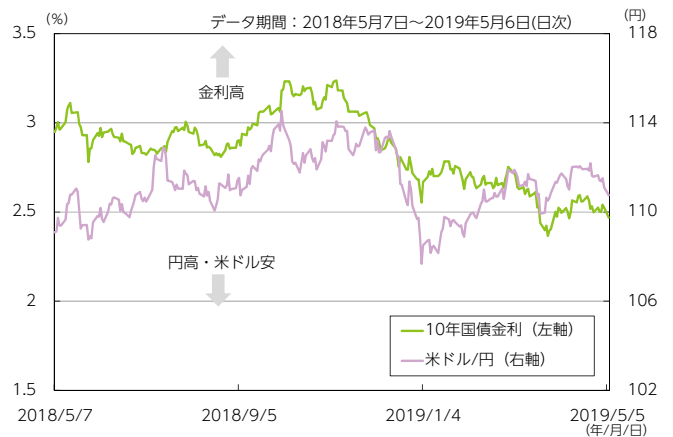
### <市場では利下げ期待も>

- 3月のFOMCでハト派(金融緩和推進派)姿勢が鮮明にされ、投資家のリスクオンムードが高まりつつありますが、米国の景気指標は強弱が入り混じる結果が継続しています。中国の経済指標の持ち直しなどから、世界経済減速への過度な警戒感が後退し、概ね堅調に推移していた5月1日の米国株式市場(NYダウ)は、パウエル議長の「弱いインフレ指標は一時的な可能性があり、金融政策については引き締めもしくは緩和いずれの方向にも偏っていない」との発言から市場に漂っていた利下げ

図表1：米国株式指数の推移



図表2：米国金利・為替の推移



出所) 図表1、図表2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

期待が後退し下落しました(図表1)。米国債券市場は利下げ期待の後退からやや金利は上昇(価格は下落)しました。為替市場の反応は限定的なものとなりました(図表2)。金利先物市場の状況から利下げ確率を算出すると、今年1回の利下げ確率が40%程度と利下げ0回と同水準まで上昇しています。世界景気の減速懸念の一旦の後退や当面の利上げ休止を織り込みながら、堅調に推移している米国株式ですが、経済指標の大幅な悪化など、景気減速が再び意識されるような局面には注意が必要になるものと思われます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>